



お話しいただいたのは  
近藤 嘉人先生

vol.183

## こんどーせんせいの 「こどもはスゴイ！」



### 子ども目線

#### ある日のおはなし

来年少生になる男子。健診中に身の回りの出来事を話してくれました。「ランドセル決めてきた。青色で、飾りがついて、カッコイんだよ！」。

「ランドセル選びといえば、おもしろい実験があります。お母さまは興味深く聞いてくださいました。」

#### 好きに選んで

あるランドセルメーカーの市場調査のお話です。子どもの立場に立ったデザインや機能を考えて商品を作るのですが、そればかりでは売れません。

「この色や形が気に入るのは今だけで将来飽きるから」「長く使うものだから」「まだよくわからないだろうから」と、いったん子どもの意見は聞くものの、結局大人の意見で決まることが多いのです。

そこで子どもが本当



に欲しいものを調べました。年長の子どもたちだけで選んでもらい、別室でその様子を見ている親にそれぞれ感想を聞くのです。

子どもたちは、ズラリ並んだランドセルをじっくり見て手に取ります。親は「この色や形を選ぶだろう」と予想して、ほぼその通りの結果に満足顔。でもそれもそのはず、メーカーが子どもたちには『親が』好きそうなランドセルを選んでね」と伝えていて、子どもたちはそう考えた理由もはっきり言っていました。子どもは大人を見ているのです。

次に『あなたが』好きなランドセルを選んでね」と伝えると、子どもたちは目の色を変えてイキイキと選びます。多くは先に選んだものとは異なる結果でした。

「大人がよかれと考えることは、子どもの立場に立つことと、必ずしも同じではないんですね」とお母さま。「同感です」と私。続きがあります。

#### ピンクの研究

ある男の子は、1回目は黒、2回目はピンクのランドセルを選びました。担当者から「どうされますか？」と聞かれた父親は「ちよっとショックだけど、本人の意思を尊重して購入を考えたい。周囲の目から守ってあげたい」とおっしゃいました。「私は、そんな風には言えないかな。でも大事で

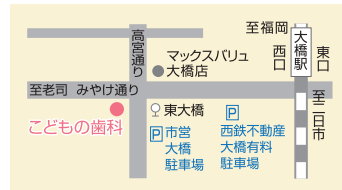
すよね」とお母さま。「全く同感です」と私。

子どもに寄り添うとはどういうことか、深く考えた一日でした。



#### 情報クリップ

「絵本の日アワードin FUKUOKA」に全国から応募いただいた、心あたまるエピソードを集めた本ができました！『絵本はホスピタリティの宝箱 エピソード33』全国の書店で絶賛発売中です！



#### こどもの歯科

日曜日も診察しています

診療科目 小児歯科・矯正歯科  
診療時間 9:00~18:30  
(昼休み12:30~14:00)  
【休診】木曜・祝日

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F  
☎092(551)8080  
http://kodomonoshika.com